

アルコール健康障害対策関係者会議
内閣府 平成27年6月12日

用語および研究の推進 について

独立行政法人国立病院機構
久里浜医療センター
樋口 進

用語について

純アルコールの表記

- ・ グラム(重さ)
- ・ 計算法 → 酒量(mL) x 度数/100 x 0.8 (比重)
- ・ ビール350mL→14グラム, 日本酒1合→22グラム

標準飲酒量(Standard drink)

- ・ 日本には2種類のユニット
- ・ 1ドリンク(純アルコール10グラム)
- ・ 1単位(純アルコール20グラム)

節度ある適度な飲酒

- ・ (第一次)健康日本21で規定
- ・ 1日平均20グラム程度の飲酒
- ・ 女性・高齢者・飲酒後顔の赤くなる人→これより少なくする

生活習慣病のリスクを上げる飲酒

- ・ 第二次健康日本21で定義
- ・ 1日平均男性40グラム以上, 女性20グラム以上

ビンジ飲酒 (Binge drinking)

- 短時間に大量に飲酒すること(日本におけるコンセンサスなし)
- WHOでは「heavy episodic drinking(大量機会飲酒)」を、1回60グラム以上の飲酒を30日に1回以上する飲酒と定義
- 米国NIAAAは、「アルコール血中濃度が0.08g/dLに達する飲酒」と定義。通常の男性は5ドリンク(70g)、女性は4ドリンク(56g)を2時間以内に飲酒した場合」(米国の1ドリンクは14g)

多量飲酒

- (第一次)健康日本21で定義
- 1日平均60グラムを超える飲酒

大量飲酒

- 日本ではコンセンサスなし
- 米国NIAAAの定義「1回5ドリンク(70g)以上を30日に5回以上飲酒する場合」

危険な飲酒 (Hazardous drinking)

- WHOで使われているが、国際疾病分類第10版 (ICD-10) で定義されていない (疾患ではない)
- 現在、健康障害が生じていないが、今のままの飲酒を続けると将来障害を起こすリスクの高い飲酒
- 2017年リリース予定のICD-11には収載される予定

アルコールの有害な使用 (Harmful use of alcohol)

- ICD-10で定義
- 飲酒により何らかの健康障害が生じているが依存症には至っていない状態 (疾患という位置付け)

アルコール使用障害 (Alcohol use disorder)

- WHOでは定義がないが、通常、依存症と有害な使用を合わせた疾患概念
- 米国精神医学会の精神疾患診断・統計マニュアル第5版 (DSM-5) では、アルコール依存症に代わる新たな疾患